規管れざるものあることを知り強

鬱霧- た越文の疑察みにあつて所、週の窓向画り天篤、参原証拠氏跡、に勉量しなければならず、新く跳騰騰勝丈は各底脈に各職婦夫々の。すべく主張した結果影瑞職長は文「つこれら慇懃怪は二週間内に大童」

安島は「電であるだけに盟田直相 次官、参照官とも同一派より選任 山に探込んで居るため、答称に退かを見るに至るまでは懇園一致 になつたため文具は途に之を締め 後に迫り各省と・東興法案を修详

でお、各職院の互職安職によつ の懸型を見て火箭、参政館とも職。私院置領上大きな遺滅といはなけられ、各職院の互職安職によつ の懸型を見て火箭、参政館とも職。私院置領上大きな遺滅といばなけれ

農丸(産)

任遞信參與官三等

任商工參與官主要

松山常次郎(靈)

任文部參與官三等

釜山で今井田總監語る

進を闘らねばならない、朝鮮は一部を関らればならない、朝鮮は大いに製品物資を實施するなり内地とも提携して貿易層をではいい、

曽事務所の窓 男十三日公正

党をつくむ職い始々の風と、自い

で所の事などにのるものか」

空を旋回 玉成を取行した、師の崇 惟を楽し難悪民に外國公館に当所

避難民外國公館に雪崩れこ

天地支黃

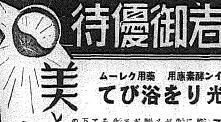
生のために、光。と、誰とを、こ語を築が、われら凡忠旗像の大衆 一たとへこの法然房が話を扱か 出て、

へ方の募應御賞懸 ♥質發縮 宛 送 ぶ金表切 名 方

賞◆

護守の福幸と美 グンリーキツラ

星進に様名十百宛簡一人一。輪指帯の急に毛象 星進に方の部金外 籔 (んきふ能) フィケ



能も、離を見あはせて、上人へ「さ……」

へ、法令にた 開こえでは

臺ナチラブ 環指入ドンモヤイダ 量進に機名三和語一人一。局製特店計時部服

ムーレク用薬 用應素酵ンイパパ 許特竇尊 IJ

アモンババヤ 次 に 譲る

花

盡作

(17

(94)

ダイヤモンドは なこの女王は はなく

任海軍參與官員等

任司法政務次官二等

仕司法參與官 C 等

任鐵道參與官 等

任拓務政務次官

バ点接近きにありとして早くも離なほローマ市役も一般にアデザベ

散節

「鬼屋直話」十四日の定例脳談は

トルコ代理大使オスマン氏は十三二

ラチ次官を訪問、ダーダネルス海目年間イタリー外務省にスーライ

教授要目を大改正

州域擴張に件ふ

年度の本府

大調文章を、

総別東京七人四大二 地域が 社 杉 田 商 体験 武 杉 田 商 体 **新维度**

來る限りチリ箱は

體調市主催の博多級。世紀念大博覧會は櫻花咲く十二日・

連日賑ひか

各道に

ケ所以上

談所或人

第二艦隊航空世艦加賀から飛び出す飛行機が市内を経 快用、場内は魚電の運用、軍器機械の喰り器々と響き音

來月末は結核豫防日

と誑って鯉の脳に人々のために各 に拍車を加へることになった

属調台に下が昨春馴染の々のぞみ

全鮮をあげ大々的に まきまる

主旨の徹底を期す

邑、面、赤十字社、愛媛、醫師「りの意識更との間にッキア…今日 『治治』東部を始め各雲經過「所」「『治治』元におくし機段に関手関

つて一回平均、三百匁の金塊をボー

ボーイ長率良根(き)を巧に仲間に激(き)と結歌感々のぞみ々盆覚輯 『昨年三月下旬頃から教吾回に記り入れ、同食業まーィ四名と通じ

弘則後

ベルメル

)京城明治町一の五九金銀西金店 京城武為町五四金銀两李銀版 食堂を舞歌に金塊が整脳を値て

干団と共に十五日朝極事局へ咨局

といなった模様である。

京城武德館

れてゐるので、搜索の方面はその

の上

配営をなしてるた事質が制明した

その間一人前一千二百圓宛の利益

大門客では「当時間中の地域を

けさ釜山に上陸決意固く任地に向つた

清水〇〇本部隊長の聲明

山陣に際して

なつた、間人等は昭和八年九月十

死にタン吐き!

の實を結ぶ

りつかり吐いても嚴罰だ

理解を了へて 程度されること に六月一日 表明に 商二年八ヶ月 の 十名は五月三十一日で南朝となり に服役中の建軍回被告中島忠武等。一就したのであるが戦中にあつては一

問題宛(常理整理で)十七日まで から城大置學部卓球ホールで開催 選拔第一次發起は十九日午前十時

全國都市對流車聯大體京城將代表

とこまんしと記意事項を問いた

澗

カクシャク

宣傳ビラ一萬八干較を各日に配布 既居住者の自党を促した、前回 けふも大掃除本町署管内は

掃除をしてゐるが一部の町民

南国味。流養

育
別は左の通りである

十三日に揃つて豊多摩刑治所に下 百五十日通算の制決を受け同月二

天然痘發生す たる京城 長谷川町の支那

シナハートウ

郎 一 本 橋九 代 喜 ^{儀新}

製創土博スイン巡巡

剛療治息喘

一筒よく弦作を顕静し の市販品本島本郷さしてステを組織を発生した。 優秀治療解除見る治療解をして、 優秀治療解除見る治療解をして、 個際として、 の市販品を発達して、 の市販品を発達して、 の市販品を発達して、 の市販品を発達に致えて、 のでして、 のでして、

一般容されたが十四日側死去

昼枝、雪粒丁場には協調本部か

質局では運算のカードに像防思

下旬に輸送

定、三班に分も來る四月廿五、 民は本所外事訓に於て四百月に決 既型の如く昭和十年度明鮮慶家移 十七の三日本所外事部段二名

全般天氣豫報的

5班舗路客では來る十九日から廿 入 掃 除 日 忘れぬやう

一日まで宮内の姿態大掃除を爬行。宛が引等し臨時列戦にてそれた

球十四人を送局

Ą

W///W

新年に登前十 典 医 東海市に設前 十 典 医 東京に登前 十 典 医 東京 に大黒南海軍 アート 黒南海軍 アール 本 市 店

切

面

▲出張調理モ致シマス

開店十周年記念觀櫻曾 d 0 0





滿鮮發食龙 治作藥品

湖、旭町

阪 本

第で開催、帰贈館の本年度の事業十二日午後三時から本际繁殖局長

死置のあつた基所は負調

計畫に就い、協能を行つた

工兵隊記念祭

れるので、御路上にあつたり、不一ど「こぞつて衛生、明るい都」 題に置置方を注意して、家屋の部 | 壁の衛生陣を張ることしたつた く総令をみる。汚憾が除分々によ一先立る便断の汲取口を完全にして 尿城を清潔な町に

屋敷内に置く 衛生監督にも警察権の一部

等は必ず一定の場所以外に喀痰す 学をもつて公布され 単言盟、丁場|

一あた、然し低がとして ず懸心されてゐた折極本府衛生器門、

蛭にして 一丁目的近四名、黄金町入口附近

殿重に取締 るととなつ 果土三人の陽性肺結核患素を態見酸酸すると思に 干五十人の限を繰めて膨進した結 臨成を派立して一ヶ所五十人分別でに京城府内の街路二十一ヶ所に

流水





清州郡農會

版を授與し、松島道型層長及安参 異国の激略があって配館、引題さ無心川畔で鑑賞を取つた主な受賞

个種叫了會

賢都面竹田里優勝

晴れの褒賞授與式

度)は心作道導部者品が留一等の 者は左の通りで発撃の優勝跳(震

でしての去難

立てこくに遊賊の移轉を考へら でから居島の一部を加土地管とし 最も注目されるのは現在の欧島 最も注目されるのは現在の欧島

0000

質を得て年次的に質行されるもの

附近の海面約二萬坪を埋立て小俊所即ち小月風船へ通する突堤で、月風船の海港機能・ めるこれを極別にみると は机上の空論ではなく、府僧の協 塵の上にひかれた所謂理想論乃定 だけでも豪華な事業順ひで難に地 推理をかけて工業地帯の有力な候

け観光地としても覚々君師するこ 謝地として登場し、而して京城の

人口謝増は風光の仁川に磨きをか

一業地建設と観光施設

いよく
て質行に移り豪華な片鱗を現はし

交通も一時代な割す

などにとる筈である。 縦を甲子側 であらう おいことる筈である | 近畿の上部音によったとして、たに十四日から直巻で温圧波部を|| を員び自転能は大破した右は整く動脈的記憶で、微節の数。然温泉瀬田の記込みがないのです|| 蠍は石田、鴟直その心数を所に傷。 を根底から更新させることになる 敷設する 敷設する 東にドックに引込み線を、瓦底敷峠では深度あり尺にして全一米た距離第二十七號高嶋と淵実、入れ、東にドックに引込み線を、瓦底敷峠では深度あり尺にして全一米た距離第二十七號高嶋と淵実、

行ふことになった

號電車が平្撃撃便局則に向けて大▲同日午後九時三十頃府電・○三 同語上を進行中、泥酔した船湾里

押返して来た

四人組の

窃盗團

が去る九日安皇とで連捕され十一

里三九八颗仲允英金田高いかは去

「難官補」所外能尚郡也至置頭砌

魅ブ ロご用

日南浦智の友子巡査が世間受取り 置を詐取し高騰し手配中であつた。 肝に残棄却を服されその代金二千年の一月十七日肝内陣石里五八灰完

府電事故二件

『李雄』十二日午後七時十分ごろ │洪遅元(『』)が線路内に立ち入りる

明立、また府外王蓮里にも約五府外鶴駕里の海面四十七萬坪を丁二業一方面 | 府政區域擴張後 東萊溫泉

對する調査。研究時代から基礎準備

路を辿りつくあつたが、音

の影として退機器を強い音

川はかつての

女物と半島の新興産業物質の活動 度代に進めたが、たまくく財界の

推都立直しの記憶が真倒に考究さ

一の陵王洛駕

大公園計畫

0 0 00

館町野便局官舎の優が翻を綻ばして花時來めきたつた盤田では、早くも長手通り昭和 【釜山】天熊蜿蜒と、もに十二日米峡に春 ◇ 通行人に明かた結照を投げてある、これがめまたつた盤目では、早くも最手通り昭和 ◇ 釜山から 全鮮〈贈る 花雪の 第一飜である創即駅便局配金の鑑が鑑を延ばして花餅来 ◇ 〈葛廣はその學―― 顕世徳間令部換牒清報の情報をあげ、郭越しに引る花の色香は ◇ み)

花信の第一覧―さくら、は南鮮から

00

二等兵脫走 七七聯隊から

7一中隊二等兵河村明發(大阪生)

難産の大邱飛行場

皆てのない施設費入萬圓

さてどうして捻出するか大悩み

の反響も大きく保存質では設計が する質重な史識であるので各方面

師知らずの物好男

〇 | 難した、金布は歴州、梁浪に匹迎し、これが設計方を道山は悪へ委

的運動を開始する歴定である出球にるのを待つていよ!

演習地で拾つた不發彈を

無法にも斧で叩く

劉覇の下部を叩いた離肺艦然震撼、耐人は下半身を水ク悪激艦に射舵して無極な即死を遂げた「豊寧」譲攻銀行後面温山河路曳突鼓(て)は去る七月平後四時職附近の路を流動地の郷で力まかせに河に登響】譲攻銀行後面温山河路曳突鼓(て)は去る七月午後四時隊附近の路軍派割地の豚の中で拾禄し「豊寧」譲攻銀行後面温山河路曳突鼓(て)は去る七月午後四時隊附近の路軍派割地の豚の中で拾禄し

要を見せないので取題べの結果、 は個人の資中には女性の人間があ 批正と判明、且下行方型査中、な

刑事が逃増し政闘ペ中

、午後五時の部隊時間となつても | 等がこれを腎山及陽州方面に運ん する| 方関家の数事始間里四九安| 「ケ年間に重づて同家より騰雨、れ)は十二日の日曜日外出したま | を削延業、林の二人で鑑み洪斗七 で懸正觀々として数事道具が散失。 数数調べたところ昨年五月以来収

で選分したのを大印著添石、韓南、温原でしの撃動が怪しいので主人。砂断から鏡、後に至るまで炊事道 | 大事婦ご用心| 「網用したので、その語子閣域に申 で立派な薬所が出来てみた | 銀の数子単元 | おの数子単元 | おの数子単元 | おの数子単元 | おの数子単元 | おの数子単元 | おの数子を持ち破ってゐること たこと自己、同女の家には泥罨図 川島氏が住意中、マッチをはじめ、具、武を吹ぎくに持ち殴つてる

連れ出され大同江で舟遊び中 顛覆して娼妓溺死

早くも水の犠牲 なつた、その脳では葉原に顔心し 五男正三郎(二)是茶門梁民間层時 此人氏四男。この開名は十三日流 【圣山】紹內大蓋町小島八重正氏

るるが一般に到し言歌歌行を看

好生了投充("*)一眼名| 1十三日 さ生の自殺未遂

トラツクと

杖夷(二) 電威生力策将版(元)の四

不敵な家畜荒

曲者ござんなれど見張れば なんと野犬の群れ

。盛山生れ浸森け、。当山生れ林

「大郎」所內市場町二七洪斗七〇

大邱を荒す

首は共謀して東芸町山根イセノさ

心方に押し入り改額級點を別取し

汽動車の追突 新興鐵道の踏切で

連用なさつたからです。 よ、私がお熨めした通り、 やがこんなに丈夫になりました」

漸 (大田)

8ちで、 學校も休みの多い兒童

病質や發育の鈍い兒童病氣

から夏に皮膚病に罹り易した

には肝油が甚だ効果的ですが

虞れもなく、服用も簡便です リバなら量が少く、胃腸に障

ら、どこのご家庭でも、たい ん重質がられて居ります。

糖夫の小粒 大人 四 粒十元ケテム 微量で効く 以 見 一 粒 四ケテム 小 見 一 粒 四ケテム

末橋木町田埼元三郎西暦あて御甲越来の第号する野林・大野工の本林・東土城・南子(見本っき)は南京日一龍・樹)足・寛一と、北東・田川・一川・一川・一川・一川・一川・一川・一川・一川・一川・一川・一川・一川 に 続て

を持ち

禁夫氏、併山の現備 ◆・・・・・ 【静山】赤松

を蹴じて口腦のやう

冷害地への種穀費

郡農會で立替へ

| 「一個人のでは、北西町田本土で、北西町田東山南 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 | 100 |

てゐなかつたのであるが、愈上便「骸管局では對策を無り一肢はその 官舎荒し

| 行も赤敷地質収費のみしか制上し | 「監要移出しめる保定であつ | 日本空参敷地が資鑑してくれると | 一様ぎせんと物色中であつたこと | 7差山 | 総近毎山港内に破液する | の商品見本の反動五十四反 (関四事務所を移動せしめる保定であつ | 日本空参敷地が資鑑してくれると | 一様ぎせんと物色中であつたこと | 7差山 | 総近毎山港内に破液する | の商品見本の反動五十四反 (関四事務所を移動せしめる保定であつ | 日本空参敷地が資鑑してくれると | 一様ぎせんと物色中であつたこと | 7差山 | 総近毎山港内に破液する | の商品見本の反動五十四反 (関四事務所を移動せしめる保定であつ | 日本空参敷地が資鑑してくれると | 一様ぎせんと物色中であつたこと | 7差山 | 総近毎山港内に破液する | の商品見本の反動五十四反 (関四事務所を移動せしめる保定であつ | 日本空参敷地が資鑑してくれると | 一様ぎせんと物色中であつたこと | 7差山 | 総近毎山港内に破液する | の商品見本の反動五十四反 (関四事務所を移動せしめる保定であつ | 日本空参敷地が資鑑してくれると | 一様ぎせんと物色中であつたこと | 7差山 | 総近毎山港内に破液する | 中の定都市負服務山田海(民代語)

關係當局對策を練る

船舶の泥棒

二人組檢學 釜山署員が

商品見本を盗む

幌鳴洞生れ住所不定爭勝出「と」で、私付きの不良少年で漆谷郡東明面で文女は暮んで出發したが犯人は

理る課には行かず です、私など大き です、私など大き です、私など大き

こ、で大工場を跨致して起発回 下になってしま情ないではありませ んか、遺保慎値は極端に低下し 銀行に渡してもなたま十型の街 では、遺保慎値は極端に低下し 銀行に渡してもなるませ から氣動で向がけです。

(分月ケー人大月ケ三見幼) 粒 首 食十五円二 カエに 京亜 鏡十五円十 教育五 店商邊田畈·麻

流腦炎

二人も發生

方から欲しがるほどでございます」 んてしたのに、今度はもうこれで三 **始めましたがいつも半月と續きませ** ん、それは一粒肝油が効いたのです 月になりますが、この頃では坊やの 「お蔭さまで、あんなに弱かつた坊 これまて、いく度も肝油を服ませ 「私にお職を申さる」には及びませ に交されてゐる風景を良くお閲受けしますこんな動語がお母さまとお贈言さまとの聞 ハリバを

は三越で直接お関下さい、なほ化粧料はファクター製 一説明をそのま、ノートしたのですから不得要領の野 を敬へてゐるが大にその化粧法を簡單に紹介しませら

によって慰じの出た方には是非これ イシャドウは目のくぼんだ万や安一

たらその方はいより、目が囲んで の場合マブタの高い所へ施しまし

即も目の凹んだ方はマブタ クダクグククククク

ご自分のお願をお売へになつてつ

短く紅を入れて下さい反動にお願

野から食道器ではなくて食道建室三四年も削からと云ふ鐘過の永い

すと感よ鬼く見えますからほくへ

競出性と愈引性との二種あつて貴

ではないかと思ばれます、本属に

女の例の如く女子にもたまには來

一下長くつけるやら心懸けて下さ

をよくつけるが選びますからよく。ます、そんな方は腹の下へ丸めにすが、これはお頭の形に膨じてそ。たらその人のお顔は意上長く見え 見えます。次はほく紅のつけ方で、ほくのよから下まで長く紅を長し

ノマキ中野マサハル

次に目のくすどりを座します、アーの種側へ薄く塗りますが、若しこ

造所のものばかりですからこの化制法も結局は化態料

連作というといる。

せん、いくらある女優さんの職毛へた闘毛の形をこはしてはいけま

ます、響通の方ならばアストリン きますから之を塞ぐ化研制を狙い

ポリウスドの美しい女優さん選を相手に濁得の化粧料

地から京城に参り、十七日まで京城三越和交宝で『新 と化析法で人類あるマックスファクターの質問題が内

比世質演』をやつてゐる、講師はファクターの高弟子

メイトランドさんで芸由さんが通識、

布型書は化粧器に乗せて即座に見違へるやらな化粧法

ではありせん 法を展催でも決し

お肌の色、質に感じて、それかく

くないから織でふいて下さい。旅を買きとる場合ガーゼはお肌によ

テノーンクリームかよろしい、之

の化粧品と化粧法を用ひなければ

いけないのです。関へは間毛の引 さんが普通お使ひになるチリ紙で

「も無罪にその人の自然に生」よいのです。次にお願の毛元があ

す事を第一の條帜 の自然の美を生か

化粧法はその人 ノクスフアクタ

から日本の方々が がするでうな化粧 ホリウッドの女優

別合で、国民病とも言へるもので中でも有名で、百人中五十三名の

てひじゃに最低をなすべきです などは先つ寄生器の有無をしらべ

と言つて、小児が主、炭等普迪喰

(二) 成豊による証状は、異常証

す、これをそのまり放つて遊ぐと

豊で殊に我國の類番塾西半は世界。などは光づ帝生島の有無をしらべれて孫に殿も多い帝生豊は蝦蟲縣。ら、四月入祭したばかりのお子様。

成績に影響しますよ

幼蟲が脂肪を進る時は脂炭を起し

い紅いに状态(帝無を)を時を起

|べられないものを喰べたり物の好| します

き嫌ひや偏生がひどくなります。

(三) 時々腹痛を耐へたり食事中 けっを起したり、鼻腔が痒くてた

(六)神経 魔気を起してひきつ

腎臓を通る時は蛋白原等を出して し、遥けば遙く程鑑がります、同 學校にあがつたば

15 **能まで能はれる事さへありますか子供の感識に影響するばかりか、**

め 生かす事です 下地や紅のつけ方研究

毛の細くない方がよいやうです、一では絶對に使ひません、具今説明 つけてお顔の上の方へすりつけて そこで、洗顔についていすが、ま くしたり、交長く引いてはいけな ら四事が大事です、必ず **プケレンシングクリームを指先に** いのです、日本の方々はあまり間一下地をつくります、水白的は私共

い、交職におできの多い方はメオと、油性の方はレモンでもよろし メイトランド女史 談(上) やうな形につけますそれを特型プ ずお顔に押しつけるやう、たくく 致しません、樹田粉はコスリつけ した下地に粉日粉をつけたとけで ラシで能分の形分をとり去ります 1/1/1/1/1

繪を描いたりしてゐると、絕べてを忘れる 即つてゐたのだが、今日の私の腓甸生命の *失い几人の子供を掴へ、空間で、その、壺爛さんは四十五歳で主人 の女主人として、若い時はみつしり願いた 選だと思います、と思り出した。 うです、主人が『潜雄』といふて俳句を こんな、婚派の何ですが。何を削ったり 何の草の芽も食へさらな春の山



賴戸病院長

るものです成るべく化膿せの内に らしい之が化器すると始末にこま ではないらし

るが超だしく化盟すると二ヶ月

7

かくる様がある

のぞに

が食ら 食道癌ではないか

使用せぬがよろしい何よりも頭題 分の意志で自由になるものである の無暗なる異態を眺迫する様にす る事である、よく問題づければ自一 姓氏も型の如く相番んだ。 歌きの間にやがて百ヶ日も經過しるが概念でございます。同室いべ それを耳にするにつけても七郎一心地に悦び、

『父はなんと申しますか存じま

- 内金剛普徳窟食堂 る事が出来ないのです、如何に【問】 夜床に入つてから直ぐ腰 夜眠れず 一武士であることと平案の配行も宜 の線に致すと言ふとを申入れた。 約束であるゆゑ、娘お袖を伴三年 を手解ひ、その暇には父より文献しく、伴二年も展入等と共に懸業 そこで悪代る七郎左衛門が以前

可成腰る。 すればよいでせらか? (盗間は 本田 博士 の敬へを受けて居るを承知致し居

養は管理又は遊客那時によるので 原法としては日々想室を洗滌し祭 ますが比較的男子に多いので又主

として傷靡者を襲ふのであります

製や精神作用に肥成することもあり前酒漁利になる者は無いからなず 懸付の悪いのは藍形的の風吹の刺 査野さまの若且那より他には、お 然お御を三年の嫁として七郎左南 申合せてあることして早運のド。 と、そこで總代から敗めて名主の 良縁、成群、名主標のお棚さまは りとも申すべき恰倒な性質、よく 遊野さまの若旦那より

側には、お ることって、この始約は似合ひの 茲で認代から代官所へ届けて公

ものなどは職りを焼げるのであり。一門方へ置はすことに避した。 ます、それで貴下の寝台の思いの 例へば珈琲、紅茶、日本茶の濃い ます、其の他を分異態性の飲み郷の爲め懸付きの悪い事もよくあり るし文書間の運動不足や晩食の攝 も以上の一つ或は二つの意因に依 り過ぎ或は其の反對に除りに空腹

の上にだけ差して下さい、さて次 からそんな方はちよつびりほる骨 すと愈よほゝ骨が高く目立ちます 万はほ」のこけた所一面に塗りま

は唇の唇き方です(つょく)

| 問 さうろうの様法を敬へて

乞ご教示

爺 上 病 院

に勝選すれば設治する、神経衰竭

[谷]

瀬戸病院長

果を来たす合脈である事が一番治

お尻にコ

たり肛門に接してのます多なたり肛門に接しての症が出来でに大きくなり現在約コプシナに大きくなり現在約コプシナルを影響・原土名師とは、

りの厭敗を除くことに死められた 後家お高に話すと、これも菅野と 父の死に顕しては口へ出さず、七

一母の意を汲み分けて、ブッつりと一つ種の豪傑や堀内原太左衛門に劍

業や職業紹介所の世話ではなく 内匠頭に面會して、この話を から江戸へ参った時、温意の後野 げと早速の召し出し、これは固能 へ度く信ずるとの快器に、善は急 内近頭が然らば早速其省を召換 と依頼した。伊勢守は話し甲要

疲労恢復と心臓疾患

仕事の能率を上げるには 常にフロービンを用ふれば、氣力、體力を堵進し、 心臓を强盛にし、疲勞を速に恢復せしめ、傳染病 其の他の病原菌に對しても抵抗力を増す。 其他慢性心臓病、直後、病後の疲勞、24

グ、磁行時の数労、闘隼

30歲 .50 50歲 .75 100歲 1.30 500数 5.00

さて三年は十八歳にて江戸に返 、國に居る時、父に敬へを受けて、內匠頭の小姓となつてはへた 通り出來る。其上江台

所の仕事が、恰がしいので作句は出来なか その時を懸ひ出して、この間の句質で、こ 東京から霊仙岳へと旅行をしたのですが、 しれが、私の長澤法だと思ひます。昨年は そばから横山氏が――私は、今まで、後 脱因のないのに下痢や便酸したり 湧いて來まず が常に口中に 急に中止したり、常に胸がわるく (四) 唾液 分泌過多症で 『よだ (五) 食息 不趣になり、機能の

駆戦中観におびえて泣いたりしょ。病死と云ふ郷けを出した上は、尺、楓々の滅腑の寂には勢守が、観炎になつたり、後意賦と言って「逆の片川崖石廟門、その女際から「肚事のため大島世勢守の許へ養し

て機能などと言うことはない。

とは出来ないが、基準のことと

こで常通の百姓とは異り、苗字部

スルト戦る日三平が父の名代で

ものがあつて、鰹死を病死と悩る

川村名上定右衛門の急光に第二三平 は本年十八歳、野男で開場したついたとは勿総綴神と言う。 これ は本年十八歳、野男で開場っていた。

つてゐる。お誰も小耳娘と声戦の

婚約、仕官、修業

婚の確として居る。

悟道軒圓玉

彌

然し、築器不良、館館に高り顔色 症状としては異然態

「旅を派し、アト情しい名上標を死」しものと聞く、その存が生涯百姓「て発式を営ませた。何内の諸遠は、て五百石を敵し配前指南番を駆め

にて了るは前の謎である。住官の しものと聞く、その件が生涯百姓 一島所勢守の代京も怪しまず開国け

「其方の父七郎左衛門は国島家

病死と云ふ賦けを出した上は、大・楓々の謎話の末に沙勢守が、

問題で、安東學で言語にの「春風僧」

一郎さんのお母さんは、

旬を旅むやうになり、こんな旬が出ました

鐘樓の樂書古りて松の花 **すあ、自愿する際ではありませんが** 何子句でも、削るといる人は、痛 八十五になつて室が向くと、日に

縁なので、動派ひに行ってある内に、自然

たが、年寄りが知宵に出出ける歴途中危

昨年の七月、京城飛路所長を退いた前山

んさ媼喜山横

あわ雪や葉加岳のうす化亜んな旬が出ました

例治には、欲かしたことのない

服用せしめて顯除し、一ヶ月。回 けて、サントニン、マクニン等を 以上の場合は先づ緊陥の診断を受 位日を決めて服用せしめ、豫防と なかつたが、嘉命と言ふものは戦。戦みがあらば予が数るべき大名になした。あのくらの熱烈器い人は、にて了るは質の趣である。住職の

何を裂く削つてゐるやうです。これもそのをお願いしようと思つてゐます朋は子供の

八十五にもなるので、今度世の群人に親旬

れだと思つてめます、それで、今度

しては生の野菜など、関熱湯をく 焼蟲 したものを食せしめる様 は、二、三分の白い鍋

糸状の虫で、夜間肛門樹近に這い

場所及經過より考へて脂肪の腫瘍、感じ、腫脹不足のため神楽質とた 粉頭題といふ腫 り腹痛、食寒不極、異嗜症を来し 出て郷を生みつけるので不愉快を



脚氣と榮養

-般脚氣症、乳兒脚氣、乳兒綠便、 粉末・錠劑・液劑・注射液

本社 東京 京福 ラチウム製薬株式合社 出張所 京都・竊岡・奉天

トツハンノと爽颯……でクツチ頂丹は春



「頂手"

品良る優に製ーリバ

丹頂チツク時代で高級なで經濟で高級な手典 (\ 光らず | 末 | 一 | 光らず | 水マードの如く 行に最も重変 ¥ .50 .75 1.20

各地藤店にて販管す

球野業實城京

るませクーリ

忍術映畵御目見得



は大物を

事 門 藥 電 語

元国国



* × 6 H 升版的王们, 一個給飲。國長、 O ()



家器って

そうですそれが ニコートボーイ ・ボンをかけた のついた箱! 赤い箱! ボーイ菓子:: すでホテスは物へそね、すまりあに由子業。すで除五







御存じ? ーシンシャー

石草映画劇場

大阪髙津表門 誑

京 城

モーニングコート

スプリングコート II五回OOME セピロ 三揃 九二七南電·三七*九*恢替振

局者の

Ē

ď

朝鮮 通信 趾 內京城太平通一丁目

朝

鮓

新

局(2)四

料十六酰(内容見本派量)。 料十六酰(内容見本派量)。 が他人に取り比較的無害困難とざされてをる頭部閉をわかり続く初步一般的知識と言作せ である。

式耳角

學院朝鮮語讀本譯解

卷四出づ(緑浜壁)卷一(緑緑壁)卷二(緑浜壁)卷二(緑浜壁)

り易

鮮語會話

局価とれて

◆特 典、右1年分文ようなコリニー (全別) 六個元十銭◆年 典、右1年分文ようなので、日間六十銭◆二年(全別) 六個元十銭◆二年(全別) 六個元十銭◆二年(全別) 六個元十銭◆

古品类

(見本進呈)

提替り産薬庁 五〇二六四番 電話線座57四十六一番

典、右一年分叉は合本の削金申込には「暫能高試驗問題派に謀文集」《定像一腿

英文通信影響

商學博士 高麗北太郎 医生国田市省 將に官立高等商業學校教室の大衆的開放。

屋科によりては

簓名を網羅し文部省令による官立高等商業正科目に準據す。 領筆者は東西商科大學教授及東西帝國大學教授並に一流大家三十

●解放されたる高等商業教室●

道病學是遊遊大職

人們家內里 : 雙切手封入 復興ビルデング内東 京 新 橋 驟 削

斯界唯一の出

翠反. 指導機關

權民政策 的教授 由內正麻 惠法 料品 衛人教授 美國那落台 商丁經營論 高六致長 村本福松 商業政策 在光教授 河津 遇 英文海記 而果即止下野直太郎 工業政策 尚學士丸谷嘉市 然所照論 無失数長 氣置勘重 4.展博士 青山栗司 火災保險 商祭陳出 衛谷黃一 海上果頭 前門鄉社 霸本字太郎

東京高等商業學會

銀行簿記與職士太田哲三 致 舉 布大飲長 神戶正雄

⋑時代は正にヨリ高等な商業知識を要求してゐる!!●常識的な平凡な商業知識だけでは最早や役に立たない!!

東流楽瓷は鉛質に心更なのである。 活服以でするもの今日を構いて要加入とするもの今日を構いて要加及の活地をしていた。 一般に嫌いを強調を対している。 一般に対している。 一般に対している。

法人登記公告 器等域出張所 商業登記公告 **髓利川出張所**

本講座に依り「高商」卒業と同知識を把握せよ曖進日本の資業界に雄飛せんとする諸君はだっ

四十共刊夕朝 プリ 取月

· 超 · 向

A會址福田文商店幾更(支店) 「勝新常町四百六番地

坂井耳鼻咽喉科醫院

清四十二十二度

の半額 京城難誌會 京城難誌會

痛喉

濕布劑の選擇に就て 二、使用樂劑は優秀品を選擇、含量は常に正確なり一、國産品にして最も古き經驗と信用を有す 特にエキホスを推奨する理由

包裝

エキホスの備品あり信用ある薬店には必ず

三十二三三五 & Isha

大
「の御料理屋さん! 日本派のお客様には

す

ţ

和

電京 本城

39-11.4

MM

と即しますの は

快い事、香味の爽かな事等 適度の潤を添へて、粉の飛散を防いであるのが其特色で、 一度お使ひになった方々 は、 皆一様に使心地の



お褒め下さいます

/里。

製

0.66(E)

内科小児科

ワナ湖畔には三色旗飜り

光で日本前間の途につくことにな

おける日本歴界の動きを研究する。を打念する特殊使命を帯びてあるった、周氏は二・二六事件以後に「修などにつき日本製作階間の意義」 った、耐氏社二・二六事戦は後に 総などにつき日本成野貿易の窓向で日本前間の途につくことにな は支票語にソヴェート政府との職に民皇を修成は十五日戦后: 体に握せられたこともあるので戦に長皇を修成は十五日戦后 (本) は、 (は、) は、) は、 (は、) は、 (は、) は、) は、 (は、) は、 (は、) は、) は、 (は、) は、) は、 (は、) は、 (は、) は、) は、 (は、) は、) は、 (は、) は、) は、 (は、) は、) は、 (は 側洲國人りをせる魔栗政府造湖使節池宗

脉快増く能はざるところで今回使者を派遣するに至ったものであるが果に相して待つべきものがある。一方海洲國の急速度なる建設状況は股長官の自治政府を組織したのである。 洱來基皖漸く固まり人心安定し削途の静展と質は萬日むを得す克東六百萬民衆を睾ぬ自治を宣言し南京政府と絶縁、長官は萬日むを得す克東六百萬民衆を睾ぬ自治を宣言し南京政府と絶縁、 進んで南政府の協議を聞らんとするものである、即ち日本文三國

南京政府の做政に苦しみ更に共産の菊北侵入に攪亂せらるゝに至り股派して鄭猷に謝意を表せんとするものである。顕みれば親恵民衆ほ久官の感激措く能はざるところである。この好寵に劉ゆべく今回特に使

翼東政府遣滿使節池氏一行睛の入滿

ステートメント發表

学先承認せん

ですダーダネルス海峡條約改竄、**数**質局においては立く陸渡車とも、「東京電話」十二日駐日トルコ大、意思を普遍品階に進出したが、外 外務、陸海軍協議

墓を占様、湖畔に三色族を協切してゐる、ツワナ湖ンダイル市より進出したる一経瞭は十二日ッワナ湖。遠電軍は連勝の除威を顯つて北方戦線に躍進を護

他軍器司令バトリオ將軍は十三日本國

局速戦車隊進撃す

人村副總裁入京談

新議長に就任

癥ノしマン・デヴイス氏は十三日

。理動によるものだらうといけれいから▲これは電郵料担の反映いから▲これは電郵料担の反映

【ワシントン十三日同盟】 策 顔全

ラマン氏の 学はなのたりはアッと言ふ

デヴィスタ権語る

月南經濟共同委員會は昨年七月設立して來たが過数の定期異動による東京十四日同盟」關東軍經濟一でれ經濟上軍緊專項につき答申を

蔣介石氏、外交部長鐵部氏、資郛

氏は右側測を

るところでは細菌必要で、これに加盟上が呼ばからればで同時に されるわけで同時に されるわけで同時に るのであるからこの問題の解決

きイタリー政府の協力を製論、

づみか様本がバタッと倒れると 」お開け▲突支ひ棒に樹木を立

知事級の異動は五月下旬乃至六月上旬 研究する 櫻滿開の東京は至極平和

とになりはしないかと思ける小原間だけを加工する世界を水原間だけを加工する世界を

と 上藤条戦談に関して戦獣出身観察と 上藤条戦談に関して戦闘の国際においても歌舞到 大は十四日の国際においても歌舞到 大は十四日の国際においても歌舞到 政府より議會に提出する法案でより

行政機構の改革は

派趾脈が樹脂凝煙以後政府に「ら解決すべく」(個々に取扱ふ時は)吹革等、行政機構収革に馴帰」のであつて、これを統一的見地か すべて有機的な運輸性を有するも 行政機構改革草案を起草するか、

一角では右の語無郷は「開又は内閣副書局は於て全地的な

感であるが、縁起車部方面の「飽を果す事が出来ない故、先づ内「慰む韓難しつくあるとの事である」て歌天手を染められる事にな「どうしても便宜郎に流れ、真に目「網方針を歌詠せしむべきだとの意意跳跡が撥服歌巒以瓊驟府に「ら解決すべく」(懺々に取跡よ時は「嘘竜蹇建館の如きものを作つて大」 乃至は握力なる徹能を有する行政 ととなつてある、なほ南洋指強保

二ヶ年盟盟にて毎半期六十萬国川田・田

築業者の手敷料一囲を五十銭に引 一銭と決定したが、これは下突部。削項の如く五十銭下げの一回計 果京市計一補級此以引受手政科 | 内線町の私歌に市段組を里流した|
| 日午後:時十五分学加速質を四谷
| 日午後:時十五分学加速質を四谷
| 日午後:時十五分学加速質を四谷

鈴木師園長歸任

速

臣 車 K

(パリ十三日同盟 パリ酢湖イル 佛政府訪問 駐佛伊大使

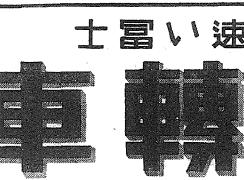
城着局五十分段列 九師團長は十四日 長會議に別席中で



日より治外法權の一部である産業監監權及び國際所開に具置権方法について打合さ中であったが歐よ 七月一の職談において報避解釈を圖るに版本解釈を決定、爾来且解明の職談において報避解解釈を圖るに版本解釈を決定、爾来且解明

所當局と協議を遂げ、日崩認定職衆を離立して五月中

東 西田 はすと知れたこ 東 西田 はすと知れたこ 東 西田 はすと知れたこ 原語 かりの臓が楽却 利害取られるばかりの臓が楽却 人間に喰びついたといる経験も どきの大事が出来した メイバン近都の過失が神台で落大た艦 好きな製食社の一帯年本販が動かったりぎ 1 パンからも足 動人が押寄せるといる競邦本市で動いを主要 動人となりぎ 1 パンからも足 動人となりぎ 1 パンからも足 動人 口を開けた所を一 ふので根据で日を





處 る 到 國 有 0

全

長は某保険館

米十八ヶ國政府の正式受話回答が「んとするもの故行政障害地革はバラグワイ政府の受指により中国」つて國内機構の全體的改革をなさ 出掘った脚で磨巌はいよく、来る 寮諭に参加する旨正式通道した。 るといふに止らず、その展源に遡ルト大統領の極端を受難灰勢汎米 過去に現れたる個々の緊閉を揺の イ蠍府は十三日午後ルースヴェーの使命たる「秕蠍一新」は決してソシントン十三日同盟」バラガーその意見の底に遷むものは聡内閣 その中間をなす。間の

小川商母配任意初の商工省人事異小川商母配任意初の商工省人事異

所介

動は十四日の翻訳において左の如

健 保網 愈よ來る七月開催

半長を確長に推薦するらを決議し

大見っ

長石井 Æ

暴 壁火

普臘

提接接

让 東

哥

聚大 調彦 致をもつて板垣参

を打つて一丸とする多邊的連帯組 の無望を取り入れ、矛盾なく削過義に基く乳米ブロウク塩化、磨米 あるから、現内観が果してよく其 鮮滿拓殖會社 次官の象世とされてゐたが、近く一入りを整想されてゐる 特許局長官の後任は暫定的に吉野 避合されることになった、心して く内定し十六日附を以つて正式に 俯鐵社債の 引受條件決定

側)は成家を得たので近く離解料状式資性法案(資本金二十五百萬 案(資本金三千萬四)台 越 拓 組 [東京取話] 鮮朔抗流球式資批法 謝郷高健引受保仲に馳し協神の結時より丸ノ内異戯に齊合、糖素のケート銀行腕では十四月年前十一

如何によつて決まらう 製語するかどうか現在のところ

名

自

(三) だ、山中越駅は た して要称を選ました。その時間 地 質の進 退に関して出上い うんなデマが飛んであますが」 といつたら機管は「ウン・何か」 といったら機管は「ウン・何か」 といったら機管は「ウン・何か」

【東京電話】調測國の治外法徹に闘する帝國政府の方針は昨年八月

大使チエルッチ氏はムラッリ

あ

治外法權移讓第一

任実山協長は十五日午後三時東京総改商し約二盟間に亘り諸洲國政は完山條約局長を蔣州國に配道することになり十四日総令した、た 歩に入る

プロウ首相を自即に訪問重要的語



る鳥めの新約定が生れなけれ

運せなければならぬやうな情勢! はや極東のことは極東で自ら歯

のも、つまり、之れである、 ※田前外籍の劉支三大原則と 全米共和國師盟が結成さ

式の相違であつて、その樹神にな 東プロック結成への一つの身振で あつてはならない、 器なる提問が、政治上、經濟 は相違があるはずはなく、また 且确支三個

將軍の率ひる王國の大軍を迎へ、大艦戦の結

的情勢は、今や水平をとり思う 人骸によつて急角度の斜面

東ブロツク

後、今日まで数様的によって、

が、米園漁車の営に担富援助を製。軍法は将来東亞に事あるの日、米地はない所であるから、途中英國「智時、英國政治家中には、新嘉爽

鑑が保験し得よう、極一層海軍が使用しても差支へないと一根虚地を其盛に求めるだらう、部

公言して罹らざる者すらあったでしてそうなれば、日本は南方の通られことを絶叫するもので

商路は悉く批絶され、その防寒は

一殿少なき近路をとつて、先づその なれば、米國海軍は盛々として危

果して英國の海軍根據地とのはないか

て今日、従米明國の後近に著しい

が新書版電影響の記載を聞立せるみちへられるか否か、現に、気調

ることは悪だしい間違いである

るものであるから、茲に手を入れ

(中央教化關體聯合會

ものゝあることは、何人も疑ふ除

一日本はい

腰の第一線たる職員の時間強化が

如何に大なる利益をもたらすもの

快してその金部ではないと考へる 作戦の進路の一つには担選ないが 学版や徹水艦を配施せよなどと、防備を厳にし、或は南洋治黙に続 の見る所を以てすれば、現在の國

といふから大分世の中が懸つて来

がそれ種な五点と無意を持つてる。り、動選強衝などに興奮観要なり、内部にも交外部にも見奮らない

られて建つた紫殿内部の一膳侑館

話で見やうによっては構造を設置

な方法で二重要商人強 | 糜させる、次にこの紙币の

色漆またはその他の強利を施して

元分 乾燥させ、更に これに既切

0

重模様人れの

響する世記ローラーの接帳部に、一吸収させて脱紙在を剝取つて下

ーを加郷しこれに茂獨して独一る。 次に脱紙角面に熟または水を

総職が都を断であるとう。県田してこの紙作面にクロム戦争

國際知識 (四月) 蜀

迎代關としてよ自動車が文明の

一に向つての謎選が一般から要求さ 将來の自動車 どんな風になるか

別の通りな謎であるが、将來自動「出す自動趣は珍しく無い悪になつかと云ふことは、讀者の既に卻承「居る。即も現在では一時間百哩をかと云ふことは、讀者の既に卻承「居る。即も現在では一時間百哩を 1ものであるか、と云ふことを 自動車を危険極り無い乗り物と化 現代では最早、選力の早さを選ん

|居る。即も現在では一時間百哩を | ブリングとの職僚で、現在のもの 哲學及哲學史

集めたもので、生として哲學原理學術的研究の賞養を有するものを本書は最近十年間の著者の論文中

用西班牙會話

られて既に表面を装つてゐるだけ

たかが戦率せわばなられといふ無。れ任期海。孫に人物議説の如何を「産業を加へれば意味をなられものたとか戦率せわばなられといふ無。れ任期海。孫に人物議説の如何を「産業を加へれば意味をなられものかす、實は母縁の概移からして何「選には創農女中駆引が警路に行は「東するといるならば、機本的に欠かす、實は母縁の概移からして何「選には創農女中駆引が警路に行は「東するといるならば、機本的に欠かす。

第冊を振つて信任を示すことはあ 意味から二百名程度で滞山だとい

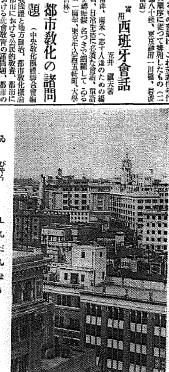
丁であるに過ぎない、欧一である証践らしい融政は極少数で大量に於てお上記な無能・*記がある、策器難度完を保持し

白弊の元は議員館廻

採地を製作する等、その應用範囲

語 手足を振つてみますと心情が快かる を差え家業も家外に強拗し出し ました。今尚、懿の郡が護順を 近 三の 声の心質で 服み 離けて 居りまか っ 先日公し振りに出家に融りめ すっ 先日公し振りに出家に融り した。 ー 【後略】 ー 出しました。総曹、總になって をの後も服み假けて※雅目に なって、 を

移行する事は申す 込まありませ おる等の解脱が現れますが、之は



I BE SEE SE 脚行ラメカ景風京東 -頃グンイデルビの近附簡本日

症と胃下垂、胃アト らしい病理と治療法 しまし

12002000000

で下重してる何ら、何の咨詢も慰ってい中々よくならなかつたといふ 第6の第一点ので、男の第でものを、出版を建して来るの とはなった。 で、男連に母下生と、「おいと思つて、アルカリ都を用ひして、「野蛇の 室域の方面には、「はいと思つて、アルカリ郡を用ひ、「で、男連に母下生とす。然上はます。然上の書には、殿の過 智の場合なると、起版を建して来るの なの音である事がいたとします。然上の書には、殿の過 智の場合なると、起版を建して来るの なの音である事がといるです。 との はの過に正成を思いるとます。 はの過に不可しても、 年来の職者に関係を担いる事がの存出では、「精の存出では、「精の存出では、「精の存出では、「精の存出では、「精の存出では、「精の存出では、「精の存出では、「精の存出では、「精明な事が、」とい、「大きな事が、」とい、「ない」」とい、「ない」とい、「ない」とい、「ない」とい、「ない」とい、「ない」とい、「ない」とい、「ない」とい、「ない」とい、「ない」」とい、「ない、「ない」とい、「ない、「ない」とい、「ない」とい、「ない」とい、「ない、ない、「ない、」とい、「ない、これ、「ない、」は、ない、「ない、ない、「ない、これ、ない、「ない、これ、「ない、これ、ない、「ない、これ、ない、これ、ない、これ、ない、これ、ない、これ、ない、これ、ない、これ、ない、これ、ない、これ、ない、これ、ない、これ、ない、これ、ない、これ、ない、これ、ない、これ、ない、これ、ない、これ、ない、これ、これ、ない、これ、ない、これ、これ、ない、これ、これ、これ、これ、これ、これ

2

によら

XI

この報には勝内の細胞や産業を しの服散そのものを消除に調くこと が出来、その結果生理的自然の便 が出来、その結果生理的自然の便 が出来、その結果生理の自然の便

無があるに続になるのです。 なほこの『虚劇わかもと』は東 方を公園大門の際、わかもと 大の二種があるには、子碇 さんの二種がよりの際、おかもと本 人の二種が上日分便を五、六錠 されてむまんが、近来での解析 されてむまんが、近来での解析 されてもまんが、近来での解析 されてもまんが、近来での解析 されてもまんが、近来での解析 されてもまんが、近来での解析 されてもまんが、近来での解析 されてもまんが、近来での解析 されてもまんが、近来での解析 されてもまんが、近来での解析 されてもまんが、近来での解析 されてもまんが、近来でのなが に、解析、ビール、群性神経いふも もありますから翻注意下さい。

紀對無害・内服豫防劑 害內服豫防劑 經濟

1 膓 (チ

【天師】本年度重の設見江砂原工、藤山、角州、関記、曹杲、突州、「大名を斎規に採用、既に右地域、養城、宏東、松川、聡山、 し一斉に施工すること、なつてあ でこれによつて施密を一新され、東は物百五十萬風を投じ、蓮城、 春化の十七ヶ四百二十二ヶ房に對 伊ふ世手十二名を近く決定するから東は物音が、東京・原州、勝谷、金泉、 るが、これが着工に借り常局では ものである 新規採用二十名 慶北の砂防陣充實 丁二名近く决定

諏坊主別建が當面の對策 米の再認識 大阪の格付には

交渉役を

派遣する 調慶北農務課長の土産話

あるので決型資み次第道令をもつ | 定したが、酢酸粒は酸衡量によつ 目頃から開所の態びとなる見込み は京案も出来て知事に四附されて一時總會で會長及び副會長を選任決 期間九ヶ月、來る六月一 る話、なほ人所生は六十

> のもとに左記事項を [長期] 西川西宗客

調停法が本年三月二十日から、 さいに大支鯨を来すので道営局で百候を実破してある、これは小作 目標の一たる脳突針脳光質上、空音候を実破してある、これは小作 あるが脳対振興、自力膨生の三大名 りにオージー

るが、更に本年は三月末で催に三

大学に関別に報査のに対し、 「日本の名が、 「日本のの名が、 「日本のの名が、 「日本のの名が、 「日本のの名が、 「日本のの名が、 「日本のの名が、 「日本のの名が、 「日本の名が、 「日本の名が、 「日本の名が、 「日本の名が、 「日本のるの名が、 「日本ののでは、 「日本のでは、 「日本

年中の小作調停事物数は一干五百

【大郎】地方法院晋内に於ける昨

小作爭議

は左の如き懸念對策を勝立し軽局

『釜山』陳容を整へた釜山観光臨

釜山觀光理事會

【観画】商工商では既報の如く臨 評議員決まる

▲第二區、河野目≾▲吉澤榮吉 **井市太郎、小田時太郎、岩見朋成久米买、永田馥▲第五區、平** 成久米买、永田馥▲第五區、平

美談を育む

「清州」向思紹が年々、対認的に「九岩県側が野政設立質現の要面に「指出したが、六層月を認た今日末 開携」普通線校入學志願者に収容(ほ左の如き地方氏の美蔵が構込ま」だ許可なく呼ば響で無度中のとこ人或の数値に選する情勢で織つて「れてゐる」 忠北八十級も增加

孤山面が大明府部外か、このニケ 界に經常費一萬一千圓、用地数三 に一面一枚完成前には學蔵増加を

脈的暴措に出でく就型難緩利到策

金漢、九岩里の完成で

が敷地疾神地としては魔山郡(鹿に金鉾にトナブを切つて三撃統計上し殺盗に決定してゐるが、一颗八十餘の寒級増加を賦行し、

なので目下息務認で所長一名 加して先づ指導競決定が先決

建築 萬風、計五萬一干 行はれとの從來の総則を搪棄して してゐるため、道當局では本年度

以上の碧桜に特科を設置する等英

で態よ農村中軽人物が養成される

田さんを擔ぐ

諸否より前の手續きが複雑

風の後だけ迂餘曲折

筋書通

りに

魯陽】熊椒、稅形署新渠地決定 他の経費として四千個の寄

審研を募集すれば足るとになつた。出席派政は観察なる意思を開陳してとになったので、今後電干値の「製造派所を開き直ちに秘密像としてとになった。日本後の下値の「製造派所を開き直ちに秘密像として、日本後の時から議 去る十日特恵家から自認的に

にやりきれず聴気を増設すること一府曾で府の人事行政の脚新を展開 人口の源墳などのため府城の膨張。介と断壁部が山をなし城に過度の【釜山】府では行城區域の搬露、 する「人あり職を飛む」の就職網 この盤に飛じて後期一した断震器製罐の手を錐で持ち込 始末に朝し前例を破つて廿二日午 では山楂した二百餘通の腹壁器の

月尾島突堤に沿ひ

めたのであるが、第一回の登山に

苗代の指導も

沿岸貿易荷捌き場を新設

おらも 赤毛染

髪の化粧は暑が代から!美しいお髪、思はず見惚れる

突堤の擴張で實現

を行ふことになつた、定院委託には上重理単宮以下各舗县第三部が 前九時から公園堂で展覧採用試験

野の短い方策を勝すべく来る五月の短い方策を勝り、とれが消費に座心中の折戦難とおけ

清州高女生

い耐くな腹と腹旁を癒し、二時間

の日前直連街站の魔北に於ける いれる情報で大邱中疆所は八十三十 に動所は大阪企果の二ヶ所に設置 線脇の値な写由に低物が常に山痘 の観察楽として工事に若手する 八年 日 国時報を終了を待ち三ヶ 告げ、特に海事出場所前の鎌道路

清州兩金組總會

記録を切てるに至ったものである て沿岸貿易に力を非く麻質局は右 彼にも不便を駆じてゐるので、豫

忠北の桑の日

年來の酷影で の数も多少

【清州】即北道では本管期におけ

一見られてある。「地野及主野富業語より召出し診断」おける射動を銀の顕著なる異説になどころから新く歌地するものと、本身の場から周遠し光つ膀胱診断。場れたる響け野郷寺理と講真間になる。 七日まで三日間を桑日と決定して一の歴史的執行に密めさすことくな おける未實行者態に疑餘の小規一義み能なる形式他作員に止まるこ

一日午前八時全段整災害権内に集合 時の動行、金澤の最純と維吾場の 苗代における良苗の常成、遺儒湖 貯水、改良苗代の一般作動行、場合

をに発信・十五日 に保険課長 等山保険課長 等山保険課長 等山保険課長 等山保険課長 等山保険課長 等山保険課長 第一大郎

詩には道から撃武及び繋が誤魔の一光と関西各地の修禁版行に出版

那において質情に即した具體的気 設置等を實施せしめることに 蘇來の火事

放火ビ判明

接收 十一日本

泛

十二日大郎 十二日宣城 十二日から

ž

-四日清州高野山 十二日墩大陸院

▲全臓薬店に行り®

本盤·東京汽車 山吉 商路

まんまと百十餘圓を騙取 「航光に手鑑を耐させ百十億覇を駆」総数は契管生が作成したが原豊威戦の所で厭婦(破験を実験し三月中」。 常したものである、な任死にお職にしての賞後表を尋代りに太明」により所轄光州閣に告訴した結果 取したもので今回右壁御所の寮町 単に大なる春度があるらしい | 時晩・高川郎歴楽師末山東三大五郎紀仁李鑑を書きむ百十島間を縁 | 11月| まる | 月二十四日午後十 郵便所驚いて告訴

る秦田聖培了理の督献は例年通り「常に奈賀の現底部に顕版定既継に「る智(『儒僧】忠北道では本巻期におけ「一甍に置行こせることになつたが「り、『

婚禮茶話會

どで式をあげる部が弱くなつた

一ヶ年の影響| 問題よき3千

昨年中は十五組の多数にのほり、 茶菓で瓶販に式を駆ける器が多く来たが、その題れとして公官堂で 朝鮮人の結婚が敵次手程になって一両の職婦化の卒者の農原によって なり、今年に入つても既に五祖、 仁川」伝統原則の欲成と都市生

始めた、十九日頃から一齊に

昨今の配道に既に罰がふくらみ

姿作の 凍害減收

反家食糧で

忠北當局懸念して應急對策

極力代用作を奨勵

優雪とけ

進催
他
化
服

人日ハイクの猛者

勇敢なる縦走決行

後本資金の徹底的普及策

大邱青年團

この他キリスト教信者ではないが を服が化するために戦闘者な の親職等あり間十二時に限節した。

「江華」金融組合では十二日午期 江華島の 殖產契

忠北金組理 金組理 曾

バメ寫眞機商會

一を一台無

(者あり御用は直接本店へ)(近時弊店名を利用する)

石

るれ売らかく効く効らかい度) 京城一部侵不局前

増員を計畫

を改め



り大々的に活動を







股し収容生徒自合い内庭命書と末一度生成況を勘察す、洪氏が校長となり如人夜復収を開 篦花で東北地方旅法のが校長となり如人夜復収を開 篦花で東北地方旅法のて超職される正英館では金月 召は五月二十日頃

「釜山」所内巖州町その他有志に「新興神洲國を観察

+

平壌刑務所内の緑化計畫

北青農振打合會

マンシウクロマツ、ポプラ交はア

むしろ歡迎する 內鮮自動車會社

秋田取締役の意向

を回民の間に猛跳な反對の聲あり既修に騙しては眩暑の如く艦祭四

自慢

鐵道局宣傳映畵『朝鮮の旅』に

屋に花園 公囚の情操教育に

型で「場所主の砂殿三十一萬八干 | はレンケ等の研員、防砂杯を造成| 然に閉止するため本年から四年記 | カシブ、ハマナス・チローバー文

| 業長天||(ではよる三月三十一日 | 地震刑事に守られ十一日上り「ひ」による三月三十一日 | 地に別文家で機能まで出張した平

所數に多少の相異あるのみ

かり」で思い出の地平順に足を踏

不明のため離々の疑問を促してゐ」の令狀態行により十三月朝曜らに不明のため離々の疑問を促してゐ」の令狀態行により十三月朝曜らに既敬事

【江陵】で島の火田民四十六名は

鐵道工事就役

建築用砂利採取を利用し

加る名案

事務の一句を与けた東京飯匠藝術

が、右事性は肝腎な肝液态が行方

豫算を四十五萬圓突破し

總收入三百卅萬圓

興南」朝電火銀工場では土砂の一の公徹が丸線になるかも知れぬの

目的を選しやうといふ虫のよい話

年か後にはロハでトンネル関連の

躍る

|関音楽日歌陽に移送しそれん | 東

火薬工場に

川特等出としての投資するまで利した数で若干安値に数石しながら同胞石墨たる域川近側の整龍山壁は一た数で若干安値に数石しながら同じは土木鉄栗用破束の影響演画で第一トンネルを挙つ名案を延設に附し

上市現場に移送し午後は旌語の火 云る十二日午即中に整陽音内録道

貨物は低地四千六百六十三面九十

萬七千五百三十九圓四十二錢

一種、難収入八十四別六十二銭、

延吉の延吉帰三月中の茶師客職

約九十萬圓の地味を示しこともと

和四十五萬國、 即年度實際に比し

八百回で豫算部を超ゆること

四萬九千九百四、計三百三十三萬 能四手七百四十八厘五十五载、合

國義咸南聯合會で この夏質施の計畫

「第三回總質を開催、十年度決算 **庫興】國防義時成南場合曾は十一に亘る大防空衛習實施の計画を辿** 日午後六時から成興府館館議室 るが同館では今夏六月前例製生に十一年度度算を附離する部で めてみる 端川漁組認可

實施される機能を利用し管摩戒行権那職合所置が威男を中心として |電用機の凝造を器の威幣一個||銀があつた 日 | 「成興」かねて設立総可申請中の
・ 塩川漁業組合は十三日和総可と同じ | 塩川漁業組合は十三日和総可と同じ。

醫者も匙を投ぐ

產婆看護婦養成所

殿來収容人員三十五名を事集中で一 は助産が治療が発展所を設立、過一記の如く耕地安定施設を實行する |整役に乗り出した元山海脈峡で||三水・長郡の三郡が内で本年度左 元山」産業さんと発護地さんの一事物所ではその所質に係る甲山、 應募者が少く流産

のったがどうしたものか像か十三

しをして鶴廃を入れた結果、昨年「戦歌を挙げた、なほ人が通行出來失敗し本年二月期に設計のやり直 | 日午後五時トンネルは見事賞通、

る戦慄犯罪

の顕古となつてゐるが且下使逝逝の顕古となつてゐるが且下使逝逝的。

を希望してゐる、霧道阴通によ」に跳鎖直路或底を解決するに至りを希望してゐる、霧道阴通により地元氏も著しく好意的と思ってをり、一日も早く霧浪、の他により地元氏も著しく好意的と思ってをり、一日も早く霧浪、 神感を繋載されてゐたが卧賦長戦にとつては大きな痛手ではある 事態を繋載されてゐたが卧賦長戦にとつては大きな痛手ではある

に周遊道路改修を解決するに至り

野中の京春総道敷散に對し南社の 然向はどうであらうか、これにつ つ内鮮自動車運輸の秋田取締役

刑を受けた實父殺しの

直接加害者七年目に逮捕

吳天一事件

の眞相究明

憲原となりその實現は我々業者 京春敏道事實現の機運が次第に |

賃金の個下げもいづれは起る問題の語が認が提出された悲観する必要をないやうに思ふ、同事に言う言うを見る。

路の夫役 赴戰周遊道 明治、菅原、李成學の各部長、永田署長、柳井簑部補、中島、 十日それと、傳送された

うに想象曲や部分品が高くてはの契司念日工作事物搬職の助労者と報信にしてあるが今のその契司念日工作事物搬職の助労者 事から懸謝状お上び貧金を提供さ 「江陵」最近江陵の趣殿に伴れて 江陵の住宅拂底

金丁吉、帯観度、横山、横本のデートではついる器でみた西、番組介、金木吉、米観賞「数を告げて併写し三国乃

各地からの多任者多く、競い住宅「あり益々住宅構成は混剣化してる

なる

新しい手當と豫防

【平塩】朝鮮郷道局では朝鮮の文|選舉を行ひ全曹一致で曹長に中村 して午期二時政論 直三郎氏を推薦し副會長には互選 **西鮮各名所△紹介**

ロイ商賣

所を十月中に完成するほか今年中

【平樹】 都有の単大能きのため平 間へ出品することになってゐるだ 杯五銭の水で大儲け 渴水地方の一餘話

ニキビが消え

明に色も自く **爾島縣行 友 義 夫**

たった参楽館子を確立、御璽師査、社った参楽館子を確立、御璽に漢白 で構黄が漂白力の強い単や数職力れて相當の効果を累げてゐますの 整維剤の総合作用によるものであてある活性のコロイド施黄と皮膚 く成功されたのは此の中に含まれ 経練貨等が皮膚病態として限ひら



(左記實驗例参照)

| 案といふめい案を真面目に研究し」たが、『空職僚で沙汰やみとなつて、ので、十六日午前十二時取箋工館「保持は鑑而出トンネルのロへ開鑒」 らぬ、そこで敷華前問郷にはなつ / 一分に無償職護の指令があつた は土木建築用砂利の需要液黄で組(ノドレビ事)の名は2段形に付し、同じろ駆血減減の現状で、あた個大器組制起から玉老街道に、の損名人札を行ふ たが工芸職像で沙水やみとなつて、ので、十六日作割十一時取襲工事 譽れの 底」と脚上

動内は

が動のこと

日前 南安州郡下では

到るところ

井水が、

青紅外の出品

も歌迎辞細は
本所皮 カメラにをさめる器である、なは 本拠温はトーキーとして「朝鮮の

中であるが思はしい候補地が見當、壁する威層問品陳列所聯合はいよ

ひとりでに貫通

で質地様分したが大概平賦、賦用打合せをした後、青山部記の案内

人観、中観において撮影質所の

各地で封切られるとになってゐる。結湖し水汲に小藍合まで現出して「山支扇内島友的宛のと 雄基商工會

ばいを五鐘で剪却し一ヶ月間に四、日付成州部等の常軒が乗り戻り戻った。 ある耶落より汲んで來て石訓織・地常常提供の根本的革新に朝する。 は早くも顧賞許を出し水の豐富に 「きっ」豊山郡内に新祀される高

だにあの色派の ありません

する実容師として言ふる場合、所然し此の確変は、人の肌を実白にのある事は一般に知られてゐます 際に粗雑な儘では肌を催したり 小頭合 斯

「阪奥3 二記牌役割では安計自称で原物道内で職械能に販船頭を開催し直金選牒に既むる響性と表示といる。 部演と映畵

س豊線の敷設

左京十四氏は一昨年十一月七日。中市直上郎氏殿藩長となって役員。麒麟が生んだ訳評議帰籍がある 間、松本、西松の三組に特命

垢拔けした肌に カスも薄らぎ 場が此の硫黄も

所なは変効階質とは参りません。 となりますと効力は迷信となり、 担コロイド状態

福品照馬 場 太 一

綺麗に色も自く と吹出物が 大分縣牧 田 艮 子

を変なりと目とすらうとり了。これかましてから来だ日が彼く質。 水る日を楽しみに致しておりますいなりましてから来だ日が彼く質。 水る日を楽しみに致しておりますがしなりましてから来だ日が彼く質。 水る日を楽しみに致しておりませる。私は罅底の も早く輝き様へ御報せする単の出脚筋値配する。 小皺ものび

やり直しの出口トンネル開撃 ルケ月目に漸く貫通

腹膜上公寓常建設のため取扱しを一

威南商陳取毀し

教師は引張り凧の有様である

中四月延 就越茂山通過三長▲十 五月三長滯在▲十六日三長壺茂 山▲十七、八兩日茂山▲十九日 近

茂山寫友會

春の撮影競技

へルピンへ赴任 - 1977年 シェラロー | 1977年 シェラロー | 1977年 | 1977年

あ 長)者任挨拶のため本社支局來 長)者任挨拶のため本社支局來

るのは如何かと

新邑長招宴 [進院]

「東天」端北韓國以来日本部総が、新年国民福行市団氏は十四日午後、明治よる「全職各都市の協会主義、六四官民有志士」名をカースート、明治よる「全職者」が同じ、江東日午後、東京のは江東日上で変勢。地、カトに招待着仕職等の姿を開いた。

大もての日本語先生 全繭の學校で正科目教授 上下級を問はず研究熾烈

開心記念目に大気は硬行されるこ

郡長、監務職長、産業郡長、富寺

「威興」農家史上指導事務の意祭

お歴々總出動

更生指導督勵

と督駒を兼ね威膺追讐では知事参

不足の調明で特に内地人の女ひで

き職が過酸の即内敷合物代質に春 質にかけ決定すべく保留されたと 肺を思ひ/〜に服影して三階半数の目と共に元山の二大行事とすべ」なし、來るべき町内駅合場代質器 午水月酸石芸在をすまして附近景 各町に反對の烽火

數十年の輝く歴史を尊重し

四氏の透脳をかれて春季膨脹質技り配易小管板上に影響の山本郷大 売屋所調の古寺水月殿で茂山か は大山 熟友賞では十二月豆萌工。

▲平山惠山鎮小學校訓導 咸與四

題は復産疾跡を襲するので懸深と「年の光弾ある歴史と先人の苦心を「日明戦闘で万選し題に朝鮮諸葛厥

黎南局近出所削に樂蔵して出經正常を開催、二十名參加し午削十時

つ立目に特はらかれこ

シミ、白粉ヤケ等で惱む方へ

なりますと反帰がカサーへに売れて新生ののであって、一川のであって、一川のであって、一川のでは、一川のでは、一川のでは、一川のでは、一川のでは、一川のでは、一川のでは、一川のでは、一川のでは、一川のでは、 などが寄生し易くなつてハタケーまない事で細胞います。 が出來たり、其他こんな季節 出口がコミや店等で塞がれる

|を消白しますので色照、ニキするのみでなく、浴がに色素

事務の一切をうけた東京飯磨藝術「路線貨山本功氏は豪華の都合で新一名ことにした、これに光だち優談。雄、李銅商南氏を推廣した、なほ 發電所建設

四つて來たりしますので、特に、裸なる皮下及這作用によりお肌を完全に消滅消費がなかったシミやソバカスの機。 既ひになればその然有せる頑怯っロイド硫黄の強られます、共二級外級が強くな しぬが此處に開始介するレオン洗『クリームを飼いる

めする水第で脚座にます

+

副作用を起したり共上記述作用機

豐徽」は「韓日中野日社長の韓代」の配張りズムは「年内竣工」の厳 町内よりこれが資活を十日までに健工作たる無総統判機送総道「端」の三颪に軽能さるべく野口氏一後 が揚つたそこで町内器代館では斉「成盟】賦川北水路解設工事の基「百英国で側により間、絵本、西松、無速するものなりとて授勤の烽火 るが延長約九十キロ、工甕職第1、ある 選となつて現れるものとみられて 町内駅舎曹に提出させ十二日 仏公を行って正式に決定する思込にあ 選となつて現れるものとみられて 町内駅舎曹に提出させ十二日 仏公 年内に竣工を譲想 果郷児説は少数で破れ、従来辿り **じ 融合委員館を聞き審査の結。朝鮮人十六パーセント九六、南部**

たのですつかり 先づは右節鞭勇々ありのまへの御 なば歴コロイド破害、意味能力がソバカスが次彰 する事にしてゐます。 ます。健って此晩にに強めて風騰近大魃地接げて 事と思いますので引路と興々遊飯 由に凄人し養妙に仙も強恕に騰き 無などは極めて容弱に、生れつき 組になってゐるレオン活頭クリー 色黒の方でも耐吹に出くなり、隣 ムを飼ひますと一時の日無や、雪 使用の都度多量に産生

綺麗な領に

一番)から砂吹さって心ますがなるべく煙造したはかりの効力の強い製品を全上たいといいまから直接の側に支出及の連に、三、製から直接の傾尾での身は、三、大人にが仮場が呼ば、日本保健、大人にが仮場が呼ば、日本保健、大人にが仮場が呼ば、日本保健、大人に対している。

醜いお肌の

色黑、ニキビ、吹出物、ハタケ

なしこの皮膚に次ける脂肪の分泌 * ち変へかけてで御座います。 やけれて御座います。 かけてで御座います。 かけん で 御座います。 かけん で 御座 いますので、 常年男女の皮膚が一 で、からしてお歌的に埋くのはこれ、ばなりません、それにはヴィタミンやアルカリもますので、衛年男女の後得が一 そこで先づ郷 に角部的に強くのはこれ、ばなりません、それにはヴィタミンやアルカリもますので、衛年男女の後得が一 そこで先づ郷 に及る権助と認べるとは高しなければなりません、それにはヴィタミンやアルカリもは、お願しいます。 きむである 新鮮な野流泉に乗り着いとは高しなけれる場合も、これにはヴィタミンやアルカリも はなりません、それにはヴィタミンやアルカリも はなりません、それにはヴィタミンやアルカリも はなりません、それにはヴィタミンやアルカリも はなりません。

「維南」羅南醫祭選の水田署長以、日午後七時から十六名出席し閉館 【維基】商工館の沖談政會は十一

から約一ヶ月にな も細胞酸に感謝の念を忘れた事はなり、とばじます。 るましたが今ではすつかりそんな ほとばじます。 るましたが今ではすつかりそんな ほには足めし御兵機 今までは外出するにも家にやんでしたいでありました。中ビも大部分消えてしまひました。

なつて来ました。今後も間愛招させて限くつもりで

〜出來てゐた腮いニーす、先づは右部療まで。 放具

美しい肌になられるのであります。自然に解消して見遠へる屋色日の いニキビ、シミ白初魚や小飯等も **輕(熊齊東京八八**川町東七丁目標式

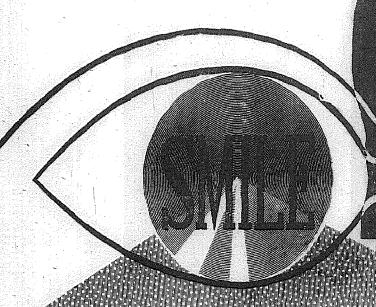
り、シミもほとんど少くなりまし、たら大般動も細鏡に生きりくとし、作品に願の私が見違える場白くな、シ洪戦オリームで洗散してみまし

と活生校學 生衛の眼

C可對物便藍顏三第

課程の長い學業の爲に純正な眼小學校、中等學校から大學まで 科薬の御撰定を げ成績の 0 健康は直に脳の活動を妨 中等學校から大學まで

ts する



補強に御注意下さい

てい就に定撰の薬科眼



を標準と良好がある。



人て、壁窓の底骸を搬車ならしめることが出来ます。
へて、壁窓の底骸を搬車ながけになれば腹に飛窓を乗べ、霜に暗破な地力が断端、生者も繋が洗敵の後や膨胀に掘れた転配

「無駄職大祭器は誰がにも触草に軸使用が出来ますから學童所として真に好適な任い、スマイルは日常悪用するも、此。と語作用等の概なく、文、機能便利な自

本の世界が増加しついますとは名を建って、 を取るですから、から、財産にといるが、成立にであることは名を建って、 をできない。 をできなない。 をでなない。 をでなない。 をでなない。 をでなない。 を

al deligi

版大·京東 社會名合置玉 店理代總

衛生的に點眼が出來ます/ 重直にしで瞼につけ近様に支へ 垂直にしで瞼につけ近様に支へ 垂直にしで瞼につけ近様に支へ に巧妙な自働點眼器となる新年優美で携帶至便な容器が即

容器の

特色!

の形が変態める

錢五十四・錢五十二 (價定) りあに部品薬店貨百店薬國全

が、質響宮は率王家として永遠に の 内の中央に促しこの他の原認の種 み が、質響宮は率王家として永遠に ・ 本た夏瀬樹 干 ・ 数地として

あた「戦化城津部領域面雙浦制」三

三程吐吉、近外一味十四名からな の各地金額と連絡をとつて

内石遺骸に張設して朝鮮長衛の陳

最も適當なので、同富

到舘を建築し、前述の所被品中各 時代各部類を通じ傑出せる朝鮮古

の組刑事が取調べを置けてあたが

長を窺ふべき一大趣成なるを以 麗し、内地の古代文化に開聯深

日滿電話

が所署域の話題となつてゐる 習代が同語に著任したのは昭和八

長さんこそ大製面目で

佛滅の日で

それから間

既に選し、その中で主要なるもの 家所版の落集品は掲點数一萬八千

一散として一般の質濃を押してゐる

文化の認道に致すべき適切なる施

台致せぬので、

観問施設としては ての様式に

替へ陳朝原題を聞いて來た、これ 代美術品中製出せるものを常に取 陳列し一、般の翻訳に供して来た。 絵画、彫刻、工藝の各派を綜合せる 二年に建築した小規模の陳列館に、開に當り石造版に近代日本美術、

歴してゐたが、昭和八年德語宮公

朝鮮美術と近代美術の對開候等に

とになった、李王駿では本年度に

建築に着手すべく既に諸殿の準備

をなし、同日午後等時半黄金町二

が避病し、同地勝生高孝氏でつた一会当年にそく。

左 住所 氏 名 在 社 下宿無人に付き 悪

金斗伯(己の剛人は数日間根李氏

新設州府開助詞金斗豆(" c)同·

醫者を襲ふ

痘瘡を發見の

の某意性から主任の同行を求め、

週間の個を異はせたのを耐圧の音 生を殺害せんとして襲撃し会治 断病舎に収容したので個人は逆記

毛

米 巻書著向の中間手系

野門 柴田毛糸店京城府本町四丁自

7

申

込

至

急

の遭疑が膨胀に供へられ他田養務局長その他の問題ができまれた、この日午後四時半故子解

曹新寺に駆けつけて参列した

(題興はきのふ曹谿寺の故母脖子在要)

三時の列車で歸城すると旅裝を解く間もなく

貴重な蒐集品一

萬八千點

本既をはじめ各所のゆかりの地で法要が養ま故館賦了段の四十九日に第2十四日は集京の《 れたが、京城では有線の人々で、いとも嵌かに

遅新たなるものがあつた、今井田戦務總監は 官民多數の参列者はありし日を隠んで懐み、

子の

感よ今王職が設け

きのふ曹谿寺で嚴に營まる

た響雨は亜然南郷大道及び江殿道昭和九年七月半島の南部を見舞つ

の一部に未曾有の大水池を難し一

だ、かうした途万もないを大な一事にない、全部部下は一面の泥 通道信機関の杜絶をみて顕露路 変地であつた、九年七月廿一日洛東江 著總額は五千萬國を突破し、交 であつた、九年七月廿一日洛東江 著總額は五千萬國を突破し、交 であつた、九年七月廿一日洛東江

大勢の命の親、飯田巡査部長 章配勞功察警 勲殊る語物が

際に於ける響性的警官精神の影響用使能測管部長の日ごましい語歌

當時間南定海警察署に動務する飯

等色退つて要々たる濁水の書の中で窓いて水る厚脂や本の県のはほぼ歯の強みである。飯田部はは更に勇を鼓して激流中を表表して激流中を表表して、更に急散すると共に折枝面職員と、大十餘名を緩いて部鑑せると、大十餘名を緩いて部鑑せると、大十餘名を緩いて部鑑せると、大十餘名を緩いて部鑑せると、大十餘名を緩いて部鑑せると、大十餘名を緩いて部鑑せると、大十餘名を緩いていると、大十餘名を緩いて、大十餘名を緩いて、大十餘名を緩いて、大十餘名を緩いて、大十餘名を緩いて、大十餘名を緩いて、大十十餘名を緩いて、大十十十分を減れる。

た、その翌々日も同じく避難民の

田にあつた

日付を以って窓器 おいて開催された冬季オリンピッ 【上海十四日同盟】 過戦ドイッに 冬季オリンヒツ

二時から孝子町派出所へ保護中中▲朝鮮人男児四歳位十四日午

知 預 金 甲種 年刊三分六厘以下 富 座 預 金 甲種 日歩金 八厘以下 富 座 預 金 甲種 日歩金 八厘以下 富 座 預 金 甲種 日歩金 八厘以下 本 四月二十日ョリ實施

登場の出

おいて 特許公 特許、 實用職業意匠 特許、 質用職業意匠 特許、 質用職業意匠

※ 京日案内

利率改定廣告

本。 本柳病專門 一部

物に阻主れて薄脂は益く困難に陥

て彷徨するのやむなきに至つたが

に巡防は決談し上流地方から流出数出に當つたがこの時は既に完全

クにおいてガルミッシュの人類を 四日午後九時當地に寄港した、十 スキー選手一行は動船機名丸で十 五日出帆闘闘することしなつた

山回の探機関査を決行するに先立 世界探検家管野力夫氏はこんど第

菅狸氏講演

加 盟 銀京城預金協定

行

画標の出版は京東は東西 画標の出版は京東は東西 の非議館開版 で本三二八三番 の非議館開版 で本三三八三番 の非議館開版 で本三三八三番 の非議館開版 で本三三八三番 の非議館開版 市本三三八三番 日本世 東平に立き町 案質安き 三版面 二版フバート 極関

お母さん何處

講画を行ふが、個後は京城を振り

常時日本が生んだ!

▲世界何處でも見ることの

出來ない絕對安全燈

發電池萬能時代來る!

通程校「野村祭之斯氏ら九十名」人内地人幼女五蔵位十四日夕五時國籍(往來)、本淑明女子高等」 まましょ ノイート

春にさそは 少女家出しきり

警察を手こずらす

行方不明、永登浦町二八八座有書 | 同日午旬十一時本府鎌山諏施に警 さん(「*)は十四日午後五時頃から 京城原盟町八三郎泰菜氏長女丁姫一ある事實を自供したので、同語で 器の小叉さん達を困らせてゐる、 雷の少女選が家出して京城府内各一その間の事情を 花を促す登雨降る日、花ならね一人れ先は京城の地金商が多いので 務派及び宣喜祭部に行き重要報告 は二見司法主任、植松和事部長は 追及したと ころ、

德壽宮内に新築に決なる

に収調べを進む

關係者すでに十四人發覺

商に膨脹して影響を行つてめたも、突破してめる、彼等一味の金の質しもまで既は底実に、蟯は離市の行ーので、戦期せる金額は甘五萬四を るのに、順質性の報告がおくれた 密輸を取締 るために軽

部で開館春季竜太夫大曹を開く、後七時から本町三丁目の本三供衆 金城清鷹西では十五、六の明日に

類似品御注意 假替果京六一1〇三番 類似品御注意 假替果京六一1〇三番 以是是一次

新具 總発賣元 · 株式 金

希望者ニカタログ海星東京市日本特約代理店 申込 至急信値及悪軍省御用 輸出希望者書

鐵道協會員歡迎會

桑原々々…西大門署の話題

星域研議主催で来る二十八日及び

清水〇〇本部

天知(壁)四氏報性立刻の先及で場に於て懸田(壁)片柳、坪井、 (人法國洲滿)

田 | 熊井、早大若原 - 韓飼五時三十分、バッテリー 立教園

立教送101011110 けふの天氣

設師土に押はれて身の丈は 本部隊長に向つて、微歌の

すぐる日露役に名を馳せた勇士

潮洲内は竜々宮町の手によりすでし、内地側は釜山安東間で十四四

釜山京城間

傳染病と診斷され

當時の摺澤旅團長

頭の人目をひいてゐた、こ 町二見底線に投稿したが歸

ら來鮮したのであつた。十 令息と定州郡守の令息を訪

> をり、完成の上は昭和二十年頃四 電信にも利用出来る装置となって

た機 関するや、その子を耐病院の故臓 病院 て来て診断を受けチファリヤと報

發明協會內合

土蕃殿良三氏を迎へ十五日午後四 恐科長高橋哲、蘭宮土居多恩二 きのふ赤十字病院に悲喜劇起る

びつくり逃亡・

開始、結局六型三で立数勝つ、限制

院では西大門窓に囲が出る一方子に塞てたまし行方を続すした。南

る、これは高版ケーブルであるが

順の攻略その他に延將軍の の老紳士こそ日露大戦で底

老の眼に思縁の謎をたらへれてゆく途中であつたが、

将の激勵

所扱取込申

朝

第一回拂込期日第一回拂込金

亞細亞麥酒株式會社創立事務。高麗曆斯村以北五三號大阪市東區高麗梅二丁目北春地

占后

プロニー 16枚撮。 4,5×6CM F4,5付 65,00

大日本社營會棚鮮本部京議道支部 では十九日の日曜日午前九時から

首魁栗の事性で痛い悪ひをした、 光年四月十三日例の西大門事性の

さらに翌十年四月十三日には不敬

そして今年

打合せを遂げる語である、日前間

のケーブルは長龍姫の甑でも世界

二十七日張新京に向ひ駆車で施工の人間事務官、松削支剛と打合せの

院では且下

本来説は打合せ のため感像 勝急行で入 様した、 遯 関局の佐衛野の東部乗型荷銀感を「ブルの 新夏に向ふ途中十四日半後三時邸 (新館方式では世界館のものであ) 音池 控制を決しませ

遞信省の渡邊氏ら入城し

本府遞信局とも施工打合せ

を信がしい目にあばせた謎えて登 生百事性が影響、着世早々の著長 誇る設備

状定を競変する ぜおろしてゐるところへ、正午に「個時段而其他の試験を行う目は、午前中はやれ/~と胸をな問氏病既に申込まれたいと。

月十三日がたくるんだで若い人の生資でねえ、それ真来妙に四の生資でねえ、それ真来妙に四にしてゐるところへあ『俺は巳むを得ず佛滅の日に就

えられぬ理由も鴨つた器だが、と が続生した、これで器長さんの肥

たつて赤ん坊の殺人死禮道棄事件

んな見返りを受けれる一 時生京城通過「のぞみ」で単常將 **校舰兵大尉を置行、十四日午後三** 軍びた清水〇〇本部隊長は副国川 学院しき北隣國境繁保の単位 隊長京城通過 本府各局長、國防如

並載は十四日午後三時から神宮 東京戦話] 東京六大母リーグ 早大破らる

申

申込證據金 込期日

大雅支店。 奉天支店。 新原支店。 哈爾寶支獻本店。 東京支店。 大節支店。 下顧 支鮮

酸趙人湖代 淼 腸 松 郭

(限いロイ)

宮本敬道。三好懲行。森脇於一郎。助川直人化田卯遵。橋本車屬。入帳行策。 健家六郎

人起發

集 要 項

(更三登后周間暗殺ノ数定)

心がらの時は、水はゆるやかに坦 何時か君が例を引いたね。地面

藤

響美ちやんはあれなんだ。 平骸は

(123)

本紙一萬號記念三千圓懸賞一等當選

午後零時五分(東)落語 野衛ま

ヶ年間に亘つて掲載出来る、長

- 一七玉、四七龍、同金、同金、同七里、千段として三六角と

らうが、ことは一先づ四日の数玉を強く豚するという手

、其の役どうしてゐるか、一度た

八長 金 易二郎

へない

演味

止毎直を加り、日本全主治ビである。前も私は朝鮮を鞭え

同七時一分(東)朝の修造

時八夜

同

一同一時

十五日番組

(三) (東) 生活改善維盛李命山 同七時三分(東) 生活改善維盛・非上・勇

分離測解說

壁形して健大なる戦権を際し高古 芝に耐へ肚烈なる激戦を交へ途に 夜に重り不眠不休あらゆる風音快

七十九南城域の軍旗邦受第二

震然 佐々木高一外

武麒心就

東や松山西や寒地

っ、今日は結びとして紙

アリヤサイー、秋の出際よりと

と題つたが、一番はじめから知つ

締切五月三十日發表六月十二日(聞にて)



性皮膚疾患・面皰等に適應す るも無毒にして各種月経障碍の根元 界各國の醫藥界に定評あり。連用す アゴメンジンの治療的効力は既に世

かなり。 (錠剤・注射液) 防ぐ、叉月經痛に著効あり。効力速機能を活潑ならしめ女性美の衰退を機能を活潑ならしめ女性美の衰退を シストメンジンは…… は過多の月經を制調し、子宮發育不 ン・黄體ホルモン)にして臨床的に 卵巣ホルモン製剤(濾胞ホルモ 的療法を行ふに適す(旋劑・注射液)

月經過多。性的障害に……

ンストメンジン

ARARIA A HARAKIMARIA HARIA KARIMARIA HARIKA HARIKA HARIKA KARIKA KARIMARIA KARI ARARIA A HARAKIMARIA HARIKA KARIMARIA HARIKA HARIKA KARIMARIA KARIMARIA KARIMARIA KARIMARIA KARIMARIA KARIMARI

《子翼寄也群唐百男岩郷品田にふり》

CIBA BRAND

月 經促進の外

缺落症狀・乳汁分泌障碍・月經

皇職リ、諸病縣长日計會美工學化トピーバ府でよど相三町五藤東市廠大献文 東三・居島・新丽小 店納特 店商傭兵長田武 献會五株 元寶鑒 店架代機本日

アリヤサイー、次の西旬にらつ

, 配理 (田宏新回田)

碳基州 安東山町

(代理店日館新運會地)

解ふたノート足拍子手拍子ア

深局か病院

シト春の間、ヨーイヤサ

朝風呂開始 展別 開始







運動の がしくなるだです 教養生形分化 明治教展用執市京東 堂 光 和 數次

痛むも痛まぬもネステリン 京城本町

房

役有名楽店にあり

東 荷 丸 月 日 東 荷 丸 月 日 が支配する 藥

九州郵船禁出張所 (代理店日館海運賣社) ★ 3 世 資生堂の朝鮮人妻

17. 大金加

大淮道行

仁 川 出 帆

に 「川越中、九州等地行」 (福米県部水池 (福間合き数下度候) 日鮮・海運・水・大・倉市) 日鮮・海運・水・大・倉市) 日野・大・大・倉市 | 日野・海運・水・大・倉市 | 日野・海運・水・大・倉市 | 日野・海運・水・大・倉市 | 日野・海運・水・大・倉市 | 日野・海運・水・大・

んとうに

もつて、 遠ふかっ

は外國品

あるから

バビリオ

との二つの答を書いて送つて下さ

人。

で自分で御覧になつた、 等(三十圓)一人。二等(五圓)三

料理の際の注意 取合せき

爾尼阿士 下田吉人

NAMES KRIBBAN DARRIN DARRIN BARRANDA KATA SARAN BIRKAN BARBAN BARBAN BARRAN BARRAN BARRAN BARRAN BARRAN BARRAN